

見守りネットワーク事業 「住民支え合いマップづくり」 236名の参加!!



2月22日(北小校区)、
23日(南小校区)に「住民支え合いマップづくり」を開催しました。

本事業は、榛東村地域福祉活動計画に記載されている「地域における要援護者情報の把握と共有」に基づき、災害時等において支援を必要とする方・世帯（避難行動要支援者）を地域全体で見守るネットワーク構築のため地域支援関係者が一同に会し地域の詳細情報を住宅地図に示し、避難行動要支援者を中心とした総合的な支援体制のマップづくりを実施し、地域住民による顔の見える関係づくり（地域力の向上）避難行動要支援者等の福祉ニーズ把握を目的としています。



また、今回は児童及び生徒の安心安全を視野に学校関係者にも周知し、危険箇所や大雪時の通学路確保についても協議していただきました

マップづくりは、防災だけが目的ではなく地域の関係づくりのツールとして活用していただくものです。

最後に平成29年度の事業目標を話し合い発表していただきました。目標には、「通学路や一人暮らし世帯の除雪・声掛け」「区民を対象とした防災訓練の実施」「避難行動要援護者と支援者の顔合わせ状況確認を行う」「地域の方々の顔の見える関係づくりの場として、気軽に立ち寄れる場所づくり」など各区から貴重な意見と課題、目標が出され、実際に実行された区の報告もありました。

